

## 【4 教育ファームに係る連携の状況】

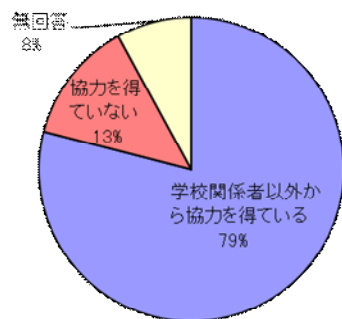
### ◆ 地域においては、関係者が連携した教育ファームの取組が行われているのか

#### (1) 学校における連携した取組の状況

##### ① 小学校における連携状況

小学校における農林漁業体験活動では、約8割が学校関係者以外からの協力を得て取り組まれている。

##### ○ 取組における学校関係者以外からの協力の状況



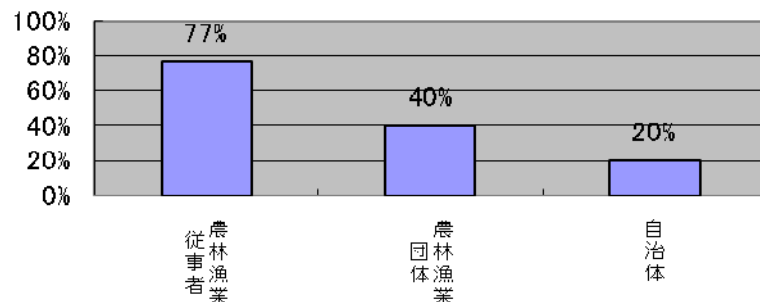
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいる小学校	学校関係者以外からの協力を得ている	協力を得ていない	無回答
1,363	1,082	177	104
100%	79%	13%	8%

※学校アンケート結果により

主な協力の相手先は、農林漁業従事者であり、農林漁業団体や自治体等からの協力を得ているが、農林漁業従事者に比べその率はかなり低い。

##### ○ 学校関係者以外からの主な協力相手先(複数回答)



<データ>

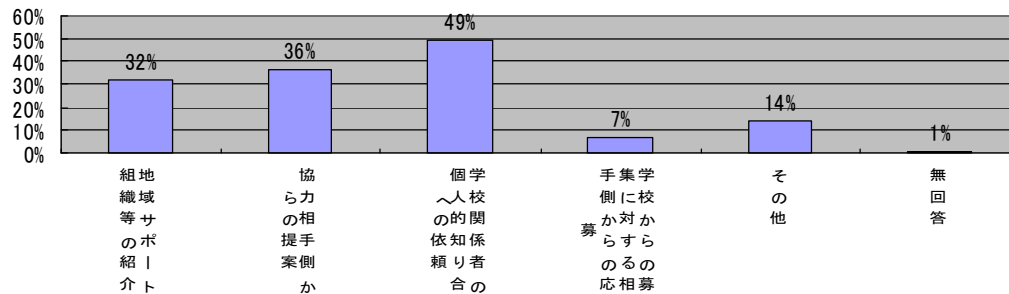
学校関係者以外から協力を得ている小学校	主な協力相手先 (複数回答) ※ 協力相手先として複数回答した学校数を計上		
	農林漁業従事者	農林漁業団体	自治体
1,082	831	428	213
100%	77%	40%	20%

※学校アンケート結果により

協力のきっかけは、学校関係者の個人的知り合いへの依頼や協力相手側からの提案が多く、個人的つながりによって協力関係が築かれている。

一方、地域サポート組織等の紹介によるきっかけは、約3割程度あるのみで組織的な関係づくりは十分ではない。

### ○取組における学校関係者以外からの協力のきっかけ(複数回答)



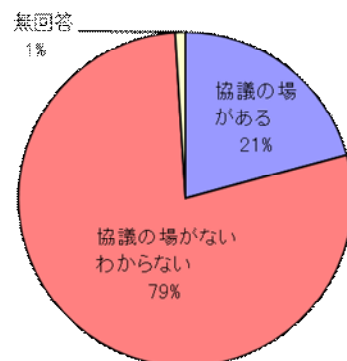
<データ>

協力を得ている小学校	協力のきっかけ (複数回答) ※ 協力のきっかけとして複数回答した学校数を計上					無回答
	地域のサポート組織等の紹介	協力相手側からの提案	学校関係者の個人的知り合いへの依頼	学校からの募集に対する相手側からの応募	その他	
1,082	343	386	525	72	148	9
100%	32%	36%	49%	7%	14%	1%

※学校アンケート結果により

学校が地域において、農林漁業体験活動について関係者が協議をする場があると回答した割合は、約2割弱であり、地域において教育ファームを推進する体制が十分でないことが推察される。

### ○地域における農林漁業体験活動に係る協議の場の有無



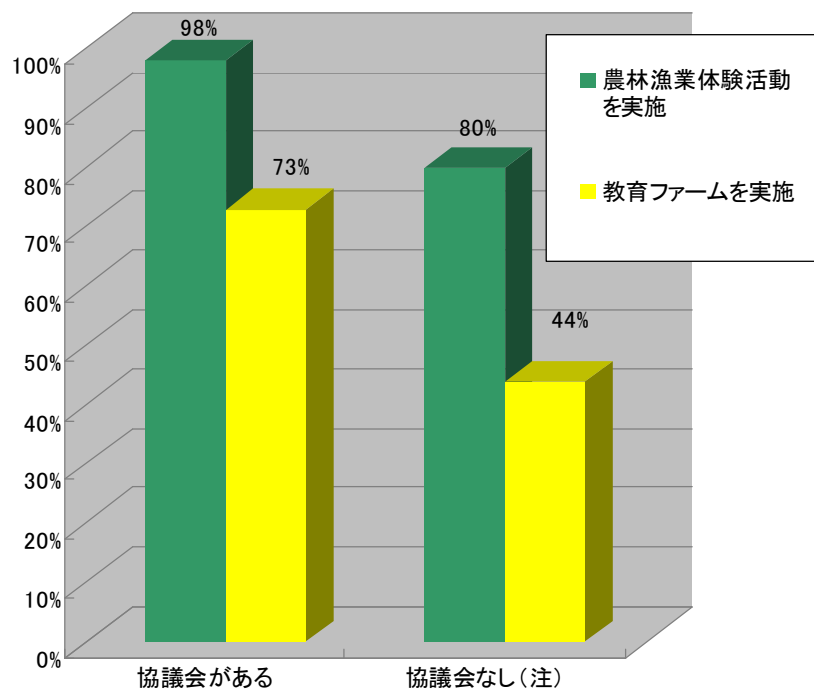
<データ>

回答総数	地域における農林漁業体験活動に係る協議の場について		無回答
	協議の場がある	協議の場がないわからない	
1,629	334	1,284	11
100%	21%	79%	1%

※学校アンケート結果により

農林漁業体験について関係者が協議をする場がある地域の小・中学校においては、農林漁業体験や教育ファームの取り組みが行われている割合が高い。

○協議の場の有無と農林漁業体験活動及び教育ファームの取組状況



<データ>

	協議会の有無	農林漁業体験実施校数	実施率	全体学校数
小学校	協議会有り	326	98%	334
	協議会無し(注)	1,029	80%	1,284

(注)アンケートにおいて「わからない」とした回答を含む  
※学校アンケート結果により

<データ>

	協議会の有無	教育ファーム実施校数	実施率	全体学校数
小学校	協議会有り	243	73%	334
	協議会無し(注)	570	44%	1,284

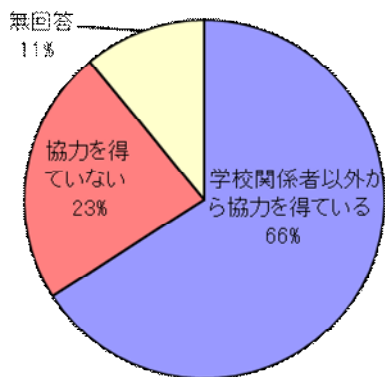
(注)アンケートにおいて「わからない」とした回答を含む  
※学校アンケート結果により

※教育ファーム該当の判断については、取組内容に関する質問への回答結果を農政局において教育ファームの定義と照合の上分類。

## ②中学校における連携状況

中学校では、小学校に比べ農林漁業体験活動において学校関係者以外からの協力を得ている割合は低く、約7割弱である。

### ○取組における学校関係者以外からの協力の状況



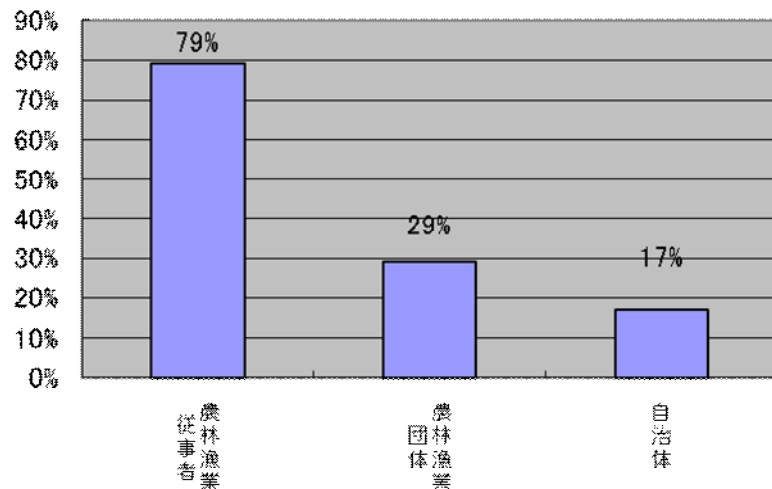
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいる中学校	学校関係者以外からの協力を得ている	協力を得ていない	無回答
322	213	74	35
100%	66%	23%	11%

※学校アンケート結果により

主な協力の相手先は、農林漁業従事者であり、農林漁業団体や自治体等からの協力を得ているが、農林漁業従事者に比べその率はかなり低い。

### ○学校関係者以外からの協力相手先



<データ>

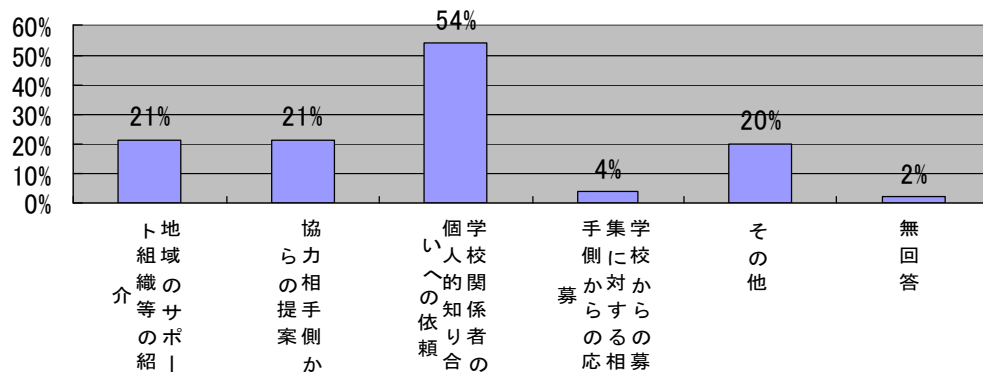
学校関係者以外から協力を得ている中学校	主な協力相手先 ※ 協力相手先として複数回答した学校数を計上		
	農林漁業従事者	農林漁業団体	自治体
213	169	62	37
100%	79%	29%	17%

※学校アンケート結果により

協力のきっかけは、学校関係者の個人的知り合いへの依頼や協力相手側からの提案が多く、個人的つながりによって協力関係が築かれている。

一方、地域サポート組織等の紹介によるきっかけは、約2割程度あるのみで組織的な関係づくりは十分ではない。

### ○取組における学校関係者以外からの協力のきっかけ(複数回答)



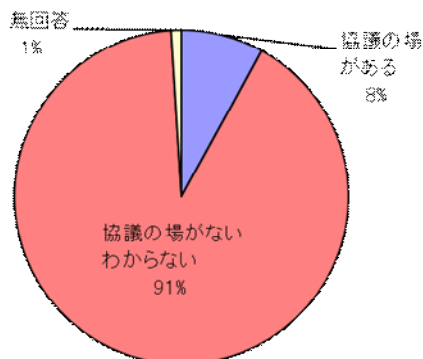
#### <データ>

協力を得ている中学校	協力のきっかけ (複数回答) ※ 協力のきっかけとして複数回答した学校数を計上					無回答
	地域のサポート組織等の紹介	協力相手側からの提案	学校関係者の個人的知り合いへの依頼	学校からの募集に対する相手側からの応募	その他	
214	46	45	115	9	42	5
100%	21%	21%	54%	4%	20%	2%

※学校アンケート結果により

学校が地域において、農林漁業体験活動について関係者が協議をする場があると回答した割合は、約8%であり、地域において教育ファームを推進する体制が十分でないことが推察される。

### ○地域における農林漁業体験活動に係る協議の場の有無



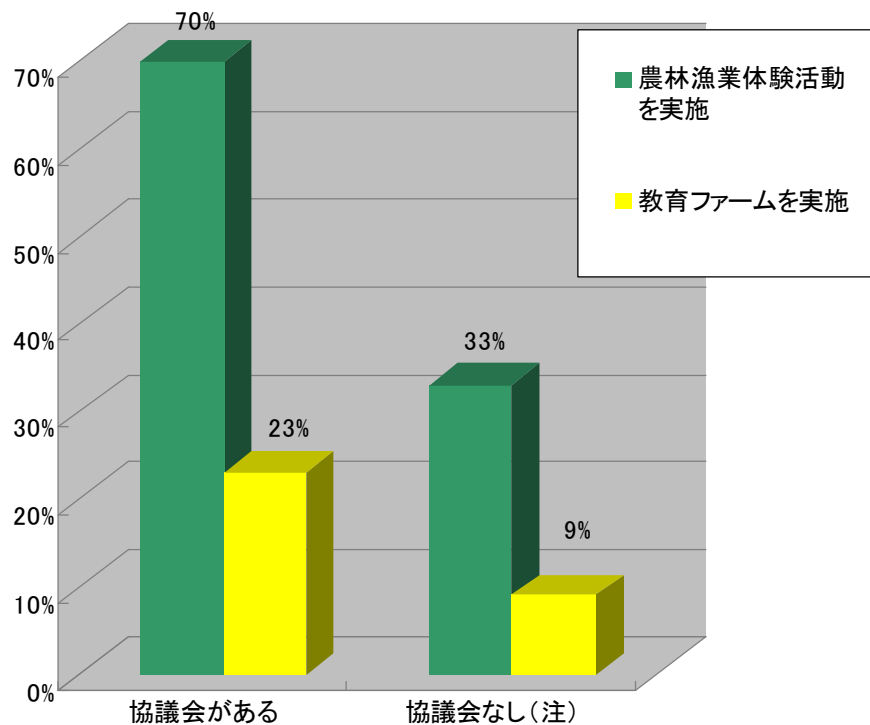
#### <データ>

回答総数	地域における農林漁業体験活動に係る協議の場について		無回答
	協議の場がある	協議の場がない わからない	
884	73	804	7
100%	8%	91%	1%

※学校アンケート結果により

農林漁業体験について関係者が協議をする場がある地域の小・中学校においては、農林漁業体験や教育ファームの取り組みが行われている割合が高い。

○協議の場の有無と農林漁業体験活動及び教育ファームの取組状況



<データ>

	協議会の有無	農林漁業体験実施校数	実施率	全体学校数
中学校	協議会有り	51	70%	73
	協議会無し(注)	268	33%	804

(注)アンケートにおいて「わからない」とした回答を含む  
※学校アンケート結果により

<データ>

	協議会の有無	教育ファーム実施校数	実施率	全体学校数
中学校	協議会有り	17	23%	73
	協議会無し(注)	75	9%	804

(注)アンケートにおいて「わからない」とした回答を含む  
※学校アンケート結果により

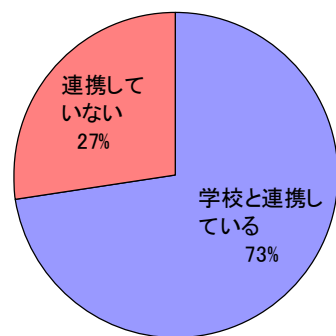
※教育ファーム該当の判断については、取組内容に関する質問への回答結果を農政局において教育ファームの定義と照合の上分類。

## (2)生産者・食品事業者における連携した取組の状況

### ①生産者における学校との連携取組の状況

農林漁業体験活動に取り組んでいる生産者の多くが、学校と連携した取組を行っている。

#### ○取組における学校との協力の状況



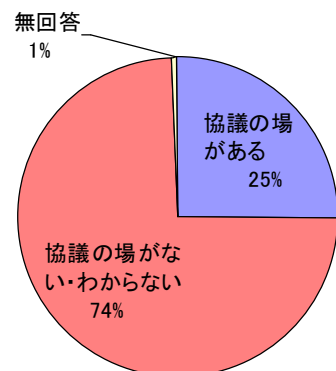
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいる生産者	学校と連携している	連携していない	無回答
80	58	22	0
100%	73%	27%	0%

※ 農林水産情報交流モニター(農業者・漁業者モニター)アンケート結果より

生産者が地域において、農林漁業体験活動について関係者が協議をする場があると回答した割合は、約1/4であり、地域において教育ファームを推進する体制が十分でないことが推察される。

#### ○地域における農林漁業体験活動に係る協議の場の有無



<データ>

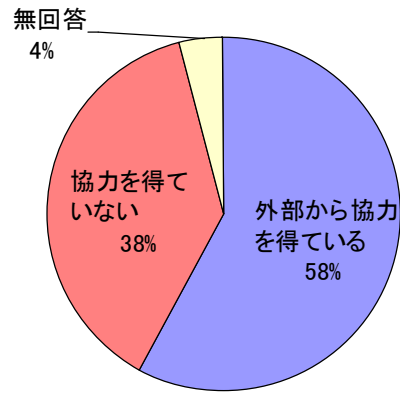
回答総数	地域における農林漁業体験活動に係る協議の場について		無回答
	協議の場がある	協議の場がない・わからない	
330	83	245	2
100%	25%	74%	1%

※ 農林水産情報交流モニター(農業者・漁業者モニター)アンケート結果より

## ②食品事業者における連携した取組の状況

農林漁業体験活動に取り組んでいる食品事業者の約2/3が、外部から協力を受けている。  
 主な協力相手は農林漁業従事者、農林漁業団体、学校である。

### ○取組における外部からの協力の状況



<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいる食品事業者	外部からの協力を得ている	協力を得ていない	無回答
26	15	10	1
100%	58%	38%	4%

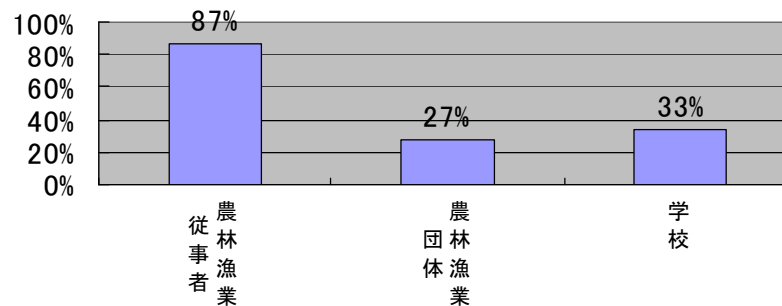
※ 農林水産情報交流モニター(流通加工業者モニター)アンケート結果より



### 生活協同組合コープかごしま

コープかごしま、生産者、JAあいら、(株)鹿児島パールライス(米穀卸売事業者)が連携して取組を実施。毎年5月に年間行事計画を決める定例打合せ会を開催し、関係者間の役割分担など調整を行うことにより、年間を通して親子で米作りを体験する取り組みを行うことができた。その結果、生産者との交流が図られ、農と食がつながり、米を大切に思うようになった。また、参加者のリピーターが増えた。

○外部からの主な協力相手先(複数回答)



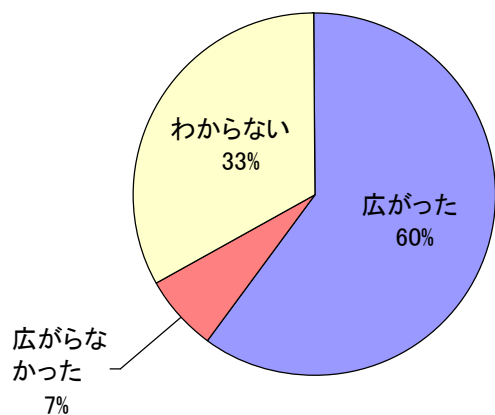
<データ>

外部から協力を得ている食品事業者	主な協力相手先 (複数回答)		
	※ 協力相手先として複数回答した食品事業者を計上		
	農林漁業従事者	農林漁業団体	学校
15	13	4	5
100%	87%	27%	33%

※ 農林水産情報交流モニター(流通加工業者モニター)アンケート結果より

農林漁業体験活動において、食品事業者が地域の関係者と協力して取り組むことは、食品事業者と地域との繋がりを広めている。

○協力した取組による地域との関係



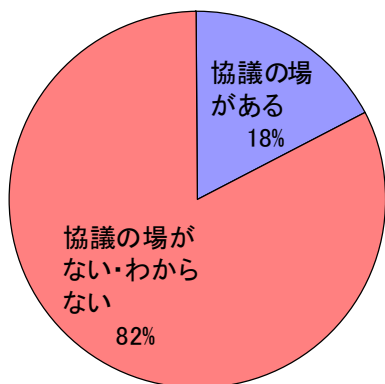
<データ>

外部と連携して農林漁業体験活動に取り組んでいる食品事業者	農林漁業体験活動における協力による地域との繋がり							
	広がった		広がらなかった		わからない		無回答	
	比率	比率	比率	比率	比率	比率		
15	9	60%	1	7%	5	33%	0	0%

※ 農林水産情報交流モニター(流通加工業者モニター)アンケート結果より

食品事業者が地域において、農林漁業体験活動について関係者が協議をする場があると回答した割合は、全体で約2割弱であり、地域において教育ファームを推進する体制が十分でないことが推察される。

○地域における農林漁業体験活動に係る協議の場の有無



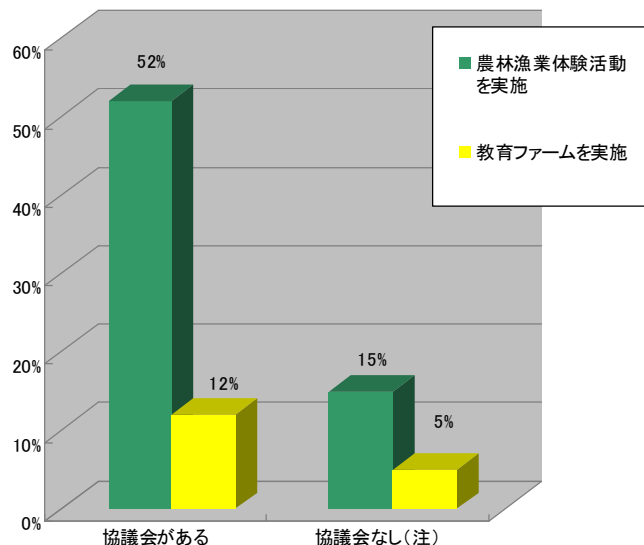
<データ>

回答総数	地域における農林漁業体験活動に係る協議の場について		無回答
	協議の場がある	協議の場がない わからない	
171	30	141	0
100%	18%	82%	0%

※ 農林水産情報交流モニター(流通加工業者モニター)アンケート結果より

農林漁業体験について関係者が協議をする場がある地域では、生産者・食品事業者による農林漁業体験や教育ファームの取り組みが行われている割合が高い。

### ○生産者の取組状況

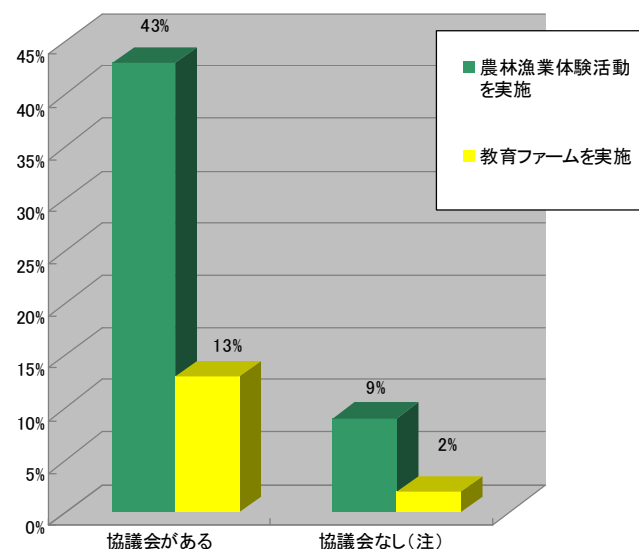


#### <データ>

	協議会の有無	取組生産者数	実施率	回答総数
農林漁業体験活動	協議会有り	43	52%	83
	協議会無し(注)	37	15%	245
教育ファームに該当	協議会有り	10	12%	83
	協議会無し(注)	12	5%	245

(注)アンケートにおいて「わからない」とした回答を含む  
 ※ 農林水産情報交流モニターアンケート結果より  
 ※ 教育ファーム該当の判断については、取組内容に関する質問への回答結果を農政局において教育ファームの定義と照合の上分類。

### ○食品事業者の取組状況



#### <データ>

	協議会の有無	取組事業者数	実施率	回答総数
農林漁業体験活動	協議会有り	13	43%	30
	協議会無し(注)	13	9%	141
教育ファームに該当	協議会有り	4	13%	30
	協議会無し(注)	3	2%	141

(注)アンケートにおいて「わからない」とした回答を含む  
 ※ 農林水産情報交流モニターアンケート結果より  
 ※ 教育ファーム該当の判断については、取組内容に関する質問への回答結果を農政局において教育ファームの定義と照合の上分類。